

豊かな森づくりと魅力ある林業の構築をめざして

令和6年度版 「富山県森林・林業白書」



伐採体験イベント(氷見市西朴木)

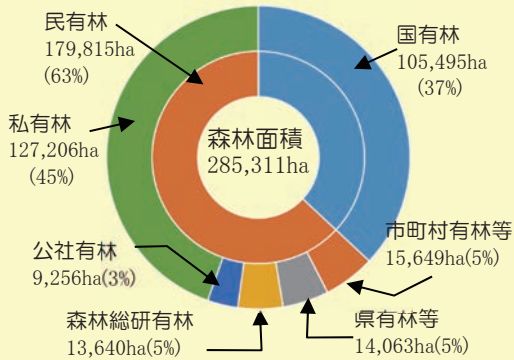


ドローンによる苗木運搬(南砺市井口)

I 富山県の森林・林業の姿

経営形態別森林面積

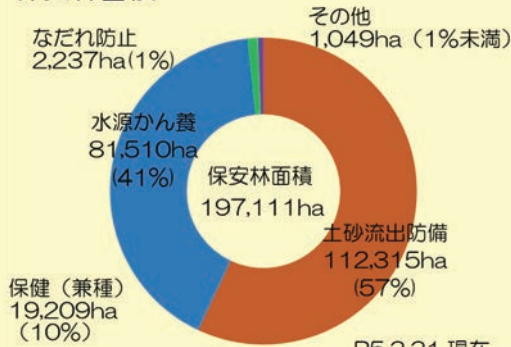
R5.3.31 現在



本県の森林面積は約 285 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めています。森林率は全国とほぼ同じ水準です。

保安林面積

R5.3.31 現在

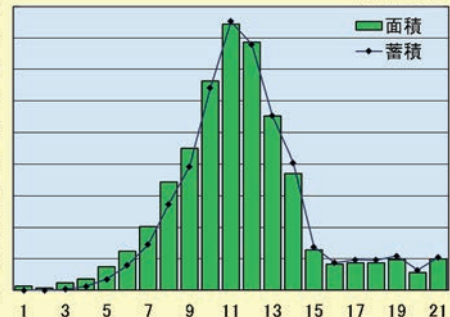


森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林を、その目的に応じ保安林に指定しています。保安林率は 69% で、全国の都道府県で最も高くなっています。

民有林人工林の齢級別面積・蓄積

面積(百ha)

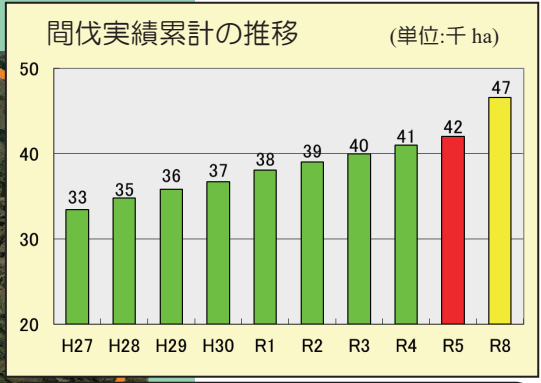
蓄積(十萬m3)



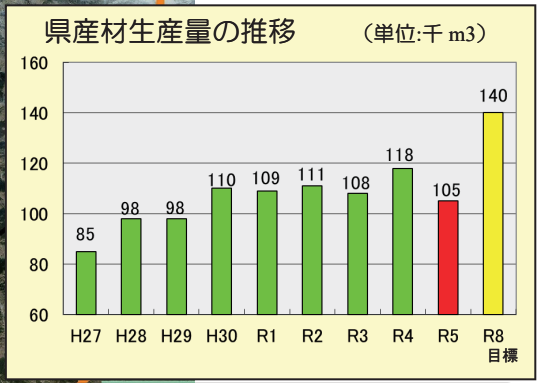
R5.3.31 現在

県内の人工林は、木材として利用可能な 9 齢級以上の森林が、面積全体の約 8 割、蓄積全体の約 9 割を占めています。

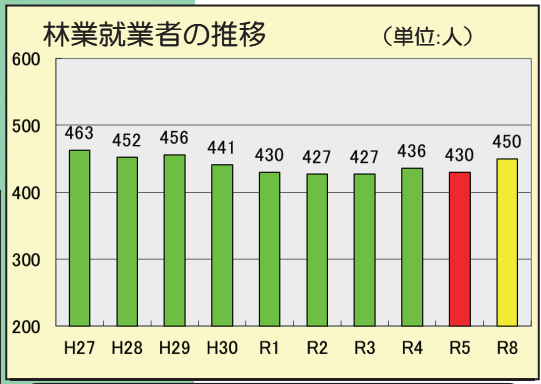




二酸化炭素の吸収源対策としても重要な役割を果たしている間伐を毎年1千 ha 程度実施しています。R5 年度には目標値の89%となっており、引き続き整備を進めていく必要があります。



県産材の生産量は、県内の人工林資源が充実してきたことや、林内路網の整備や高性能林業機械の導入等を積極的に進めた結果、近年、増加傾向にありましたが、昨年度は梅雨期の豪雨災害や令和6年能登半島地震の影響等により減少しました。



林業就業者数は、S55 年度以降の著しい減少に一定の歯止めがかかり、過去5年間ではほぼ横ばい傾向にあります。新規就業者の定着につなげるため、ICT 技術を活用したスマート林業の普及等を図っていく必要があります。

目次

- I 富山県の森林・林業の姿…………… 1
- II 富山県森林・林業振興計画の概要…………… 3
- III 目標の実現に向け、令和5年度に講じた主な取り組み…………… 5
 - 森を活かす
 - 木を使う
 - 森を守る
- IV 富山県森林・林業振興計画の参考指標と令和5年度実績…………… 18
- V 令和5年度の森林・林業に関する主な出来事…………… 19

II 富山県森林・林業振興計画の概要

本県の森林・林業の現状と課題(第1章)

- 森林資源の循環利用の推進
本格的な利用期を迎えた人工林のフル活用
- 林業担い手の確保・定着
人手不足が進む中、林業担い手の確保と定着率の改善
- 県産材の利用促進
安定供給体制の整備と需要の拡大
- 県民参加の森づくりの一層の推進
全国植樹祭を契機とした県民参加の森づくりの機運の継承
- 集中豪雨などによる山地災害への対応
災害に強い森づくりや流木対策などの推進

【本計画の位置付け】

本計画は県の総合計画である「元気とや

森林・林業・木材産業の目指す方向

森づくりの基本指針 **森づくりプランに活用した、100**

目標 **豊かな森づくりと魅力**

目指す方向 **【森づくり】
水と緑に恵まれた県土に強い森づくりが進んで**

森づくりプランに基づき、里様な森づくりや森づくりを支えられるとともに、森林整備や治より、災害に強い森林が造成。

新・総合計画の政策

【活力14】

森林整備と林業の振興、 県産材の活用促進

- ・森林資源の循環利用と生産基盤の整備
- ・県産材の安定供給体制の整備と木材の需要拡大
- ・林業事業者の経営基盤の強化と担い手の育成・確保

【未来28】

水と緑の森づくり・花と緑の 地域づくり

- ・水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進
- ・とやまの森を支える人づくりの推進
- ・県民緑化運動の推進と花と緑のあふれる地域づくり

【安心21】

防災・減災・災害に強い県 土づくり

- ・治山・治水・土砂災害対策の推進
- ・津波・高波・海岸侵食対策の推進
- ・公共施設の計画的・効率的な維持管理の推進

施策の体系

森を活かす(伐って・植えて・育てる)

1 森林整備と森林資源の循環利用の推進

- (1) 事業地の大規模集約化の推進
- (2) 「生産林」の健全な育成と主伐、再造林の推進
- (3) 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の生産体制の整備
- (4) 森林経営の確立に向けた生産基盤の整備
- (5) 新たな森林管理システムの推進

2 林業担い手の確保・育成

- (1) 林業担い手センター等による担い手の確保
- (2) 富山県林業カレッジ等による担い手の育成

3 林業経営基盤の強化

- (1) 林業事業者の育成と経営基盤の強化
- (2) 農林水産公社営林の経営改善と適正な管理
- (3) 県営林の適正な管理
- (4) 特用林産物の振興

4 新たな技術開発と普及指導の推進

- (1) 林業の低コスト・省力化のための新たな技術開発の推進
- (2) 持続可能な林業経営に向けた林業普及指導の推進

木を使う(県産材等の木材の利用促進)

5 安定供給体制の整備

- (1) 林業生産性の向上
- (2) 品質・性能の確保と流通の円滑化

6 需要の拡大

- (1) 住宅や公共建築物等での利用促進
- (2) 新たな需要を創出するための研究開発
- (3) 設計者等の育成・確保
- (4) 理解の増進と木育の推進

森を守る(多様な森づくり・災害に強い森づくり)

7 県民参加の森づくりの推進

- (1) 里山林や混交林等の整備の推進
- (2) 森づくりを支える県民意識の醸成
- (3) 森林ボランティア等による森づくり活動への支援

8 災害に強い森づくりの推進

- (1) 保安林の適正な管理と林地の保全
- (2) 県民の生命・財産を守る治山事業の推進
- (3) 森林病虫獣害対策の推進

人を育てる

「ま創造計画」の森林・林業・木材産業分野に関する計画として、県の森林・林業行政の基本指針になります。

(第2章)

目標年次: 令和8年度

基づき、「里山林」「保全林」「生産林」「混交林」に区分し、新たな森林管理システムなど
年先につなぐ多様な森づくり

ある林業の構築

○計画のポイント「伐って、使って、植えて、育てる」
成熟期を迎えている森林資源の循環利用の推進

支える多様で災害
いること

山林の整備などの多
る人づくりが実施さ
山施設の設置などに

【林業・木材産業】

地域林業の担い手により、持続可能な森林経営が行われているとともに、県産材が安定的に供給され、需要拡大が図られていること

森林資源の循環利用と林業・木材産業の成長産業化に向け、森林経営管理制度やICT等を活用したスマート林業の導入などにより**主伐面積が3倍に増加**するとともに、需給情報の共有化や需要拡大により**県産材の利用量が4割増加**。

冬期林業の普及などにより伐採作業従事者の**通年雇用が促進**され、その所得が4割増加*。*森林組合の伐採作業の従事者を対象に県で試算

目標の実現に向けた推進施策(第3章)

主な取り組み内容

- ・航空レーザ計測により詳細な森林資源情報を整備し、森林境界の画定や施業集約化に活用するほかデータ共有による需給のマッチングなど、**スマート林業**を推進
- ・森林資源の循環利用に向け、人工林の計画的な主伐と、伐採後の優良無花粉スギ「立山 森の輝き」による**再造林**を推進
- ・水源の涵養や地球温暖化の防止などを図るため、間伐等の森林整備を推進
- ・県産材を低コストで安定供給するため、路網整備や高性能林業機械の導入を支援
- ・森林経営管理制度に向け、「**森林経営管理総合支援センター**」を設置し、市町村による、森林経営管理を支援

- ・高校生等を対象とした**林業体験**の開催や、林業就業に関する情報発信サイト「**とやまの林業就業ナビ**」を開設し、県内外からの新規就業者を確保
- ・冬期林業の普及により事業体間での**労働力の融通を通じた通年雇用**を促進
- ・効率的な素材生産技術の習得など経験や役割に応じた人材を育成

- ・新たな森林管理システムの担い手となる意欲と能力のある林業経営者を育成
- ・県営林の適正な管理により計画的かつ効率的な県産材の供給を推進

- ・「**とやま県産材需給情報センター**」により、川上の供給情報と川下の需要情報の共有化を図るなど**需給マッチングの円滑化**を推進
- ・品質・性能の確かな県産材製品の供給を促進

- ・県産材を使った住宅の事例紹介や見学会などによる住宅での利用促進
- ・県産材利用のシンボルとなる公共建築物等の木造化や内装木質化を推進
- ・**県産材活用マニュアルの普及**により民間の建築物での県産材利用を促進
- ・**中大規模のCLT等を活用**した木造建築物を設計できる人材を育成

- ・地域住民との協働により地域や生活に密着した明るい里山林の整備を推進
- ・過密人工林や侵入竹林の整備により針葉樹と広葉樹が混在する混交林に誘導
- ・「**とやまの森づくりサポートセンター**」によりボランティア団体等の森づくり活動を支援

- ・**流木被害の未然防止**に向け、適切な森林整備と流木捕捉機能を備えた治山ダムの整備や溪流内での流木危険木を除去
- ・海岸林を中心とした、松くい虫被害などを適切に把握し効果的な防除を実施

主な参考指標(H28 ⇒ R8)

- ◎主伐面積[人工林](年間)
32ha ⇒ 100ha
- ◎無花粉スギ植栽面積(累計)
42ha ⇒ 500ha
- ◎間伐実施面積(累計)
34,784ha ⇒ 46,607ha
- ◎森林境界画定面積(累計)
4,929ha ⇒ 12,000ha
- ◎路網整備延長[人工林](累計)
1,818km ⇒ 2,498km
- ◎林業就業者(年間)
452人 ⇒ 450人
- ◎林業就業者*のうち、通年雇
用者の割合(年間)
*森林組合の伐採作業の従事者
64% ⇒ 100%

- ◎県産材素材生産量(年間)
97千m³ ⇒ 140千m³
- ◎公共建築物等の木造率(年間)
14% ⇒ 25%以上
- ◎公共建築物等での県産材
利用実績(累計)
243棟 ⇒ 830棟

- ◎里山林の整備面積(累計)
2,628ha ⇒ 4,600ha
- ◎県民参加による森づくりの
年間参加延べ人数
12,439人 ⇒ 13,000人以上
- ◎流木被害防止対策着手数
(累計)
一箇所 ⇒ 20箇所
(R3年度)

(森づくりや林業・木材産業を支える人づくり)

III 目標の実現に向け、令和4年度に講じた主な取り組み

森を活かす（伐って・植えて・育てる）

本格的な利用期を迎えている人工林での森林資源の循環利用（伐って、植えて、育てる）を推進するため、林業生産性の向上や担い手の確保、林業事業者の経営基盤の強化、新たな技術開発などに取り組みました。

※下記アイコンは、SDGs（持続可能な開発目標として、2015年国連サミットで採択された国際目標）のうち、本項目に関連するものを示しています。（以下、同様）

1 森林整備と森林資源の循環利用の推進

(1) 事業地の大規模集約化の推進

●森林境界の画定の推進

森林の整備や施業集約化に不可欠な森林境界の画定のための調査・測量に対し支援しました。

【実績】

- ・森林境界画定実施面積 209ha

●ICT等を活用したスマート林業の推進

「富山県林業イノベーション推進協議会」において、地上レーザなどのスマート林業機器等の実証事業に取り組みました。

【実績】

- ・実証機器：地上レーザ、林内通信網整備、カラーマーキング機能等付きハーベスタなど
- ・林業事業者向け研修 4回、135人参加



●施業の集約化の推進

森林の持続的・効率的な経営を推進するため、森林を面的にまとめて具体的な経営方針を示す森林経営計画の策定を推進しました。

【実績】

- ・森林経営計画策定面積（累計） 39,437ha

(2) 「生産林」の健全な育成と主伐、再造林の推進

●森林経営計画に基づく計画的な森林整備の推進

計画作成者を対象に、間伐等の森林施業や森林作業道の開設にかかる費用等を支援しました。

【実績】

- ・間伐（造林事業関係）

造林事業	375ha
間伐材生産推進事業	41ha
県単独森林整備事業等	25ha
- ・森林作業道 99.5km



●計画的な主伐と無花粉スギによる再造林の推進

小規模、分散している主伐可能森林をとりまとめ、効率的な出材を促進するとともに、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」による再造林を支援しました。

【実績】

- ・主伐可能森林の集約化 22ha
- ・「立山 森の輝き」の植栽 33ha

(3) 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の生産体制の整備

●「立山 森の輝き」の増産体制の確立と民間生産者の育成

生育期間が短く低コストで大量生産が可能となる、挿し木による苗木生産に向け、県魚津採種園及び県砺波採種園に設置した採穂林の管理・育成を進めるとともに、コンテナ苗生産に取り組む民間生産者を対象に、巡回指導や技術研修会を開催するなど、技術力の向上に取り組みました。また、令和8年度から生産量を倍増させる計画のため、新たな生産者の発掘にも取り組みました

【実績】

- ・採穂林管理 5.6ha
- ・育苗施設整備 コンテナ苗散水施設（魚津採種園）
- ・コンテナ苗生産に取り組む民間生産者 5者
- ・種苗生産事業者講習会 5者 10名参加

苗木生産参入希望者に向けた講習会
(R6. 1. 19 立山町)



(4) 森林経営の確立に向けた生産基盤の整備

●林業の生産性向上を図る路網整備の推進

森林施業や木材輸送の効率化を図り、林業生産コストを低減するため、路網の骨格となる林道に加え、10t 積みトラックや林業用車両の走行を想定した林業専用道、主として林業機械の走行を想定した森林作業道を、それぞれの役割に応じて適切に組み合わせ、整備しました。

【実績】

- ・林道 () 内は未完成延長
 - 山のみち 0.8 (1.7)km
 - 森林基幹道 0.4 (1.6)km
 - 森林管理道 0.1 (0.2)km
- ・林業専用道（規格相当）1.0km
- ・森林作業道 99.5km [再掲]

木材の搬出に利用される林道
(坪野虎谷線 魚津市)



(5) 森林経営管理制度の推進

●森林経営管理制度の推進

令和元年4月に設置した「富山県森林経営管理総合支援センター」において、市町村に対する森林経営管理に関する必要な助言や指導、情報提供などを実施しました。

【実績】

- ・市町村職員対象研修会 3回、69人参加
- ・意向調査等の実施（準備含む） 14市町
- ・経営管理権集積計画の公告 4件

●意欲と能力のある林業経営者の育成

生産性の向上や再生林の確保、雇用管理の改善などに関する一定の基準を満たす林業経営体を公表しました。

【実績】

- ・意欲と能力のある林業経営者 13者

《令和6年度に新たに講じる施策》

県が保有する森林情報の利活用を促進するため、航空レーザ測量による高精度な森林資源情報等のオープンデータ化を実施します。

トピックス 令和5年度の山地災害の概要

令和5年度に発生した山地災害のうち、大規模で緊急性が高く災害関連緊急事業等により対応したものを紹介します。

●5月の豪雨による山地災害

5月8日、記録的な大雨により、朝日町南保地内で幅170m、延長180mの山腹崩壊が発生し、土砂流出により農業用水や水田等が被害を受けました。更なる土砂流出を防ぐため、治山ダム工や排土工等を実施し、復旧することとしています。



令和5年5月 朝日町南保地内

また、立山町長倉地内では、幅50m、延長200mの山腹崩壊が発生し、崩壊した土砂が二級河川白岩川を一時的に閉塞するとともに、林道茨谷線に堆積して通行止めとなりました。これを排土のうえ山腹工を実施し、復旧することとしています。



令和5年5月 立山町長倉地内

●7月の県内初の線状降水帯による山地災害

7月12日、梅雨前線や寒気の影響を受けて県と富山気象台から「土砂災害警戒情報」が発令される中、局地的に激しい降雨となる線状降水帯が県内で初めて確認されました。

この豪雨により、富山市山田中瀬地内では、法枠工により安定していた斜面が崩落する施設災害が発生しました。



令和5年7月 富山市山田中瀬地内



令和5年7月 小矢部市道坪野地内

斜面を整形し、法枠工等で復旧することとしています。

また、小矢部市道坪野地内では、幅100m、延長300mにわたる地すべりが発生し、農道や

広範囲の水田に土砂が流出する等の被害が発生しました。農地の復旧と連携し、法枠工や集水ボーリング暗きょ工等の地すべり対策工を実施することとしています。

●令和6年能登半島地震による山地災害

1月1日、能登半島を震源とする震度7の大きな地震が発生し、県内でも観測史上初めての震度5強を記録しました。

1月5日に林野庁中部森林管理局と県が合同で実施したヘリコプターによる上空からの森林被害調査では、対応に緊急を要する土砂災害は認められませんでした。しかしその後5ヶ月経過時点で、地元住民からの通報や地上での現地調査により数件の山地災害が確認されています。



令和6年1月 富山市八尾町坂ノ下地内



そのうち富山市八尾町坂ノ下地内では、地震に起因する地すべりにより、林道八尾牛岳線に段差や亀裂等の被害が確認されました。これに対応するため、集水ボーリング暗きょ工やアンカー工などの地すべり対策工を計画しています。

2 林業担い手の確保・育成

【人を育てる】



(1) 林業担い手センター等による担い手の確保

●林業就業者の確保

林業就業に関する一元的な情報発信サイト「とやまの林業就業ナビ」の運営、ハローワークと共同で就業相談会の開催や、首都圏等大都市で開催される林業就業者相談会に参加するなど、新たな担い手の確保に取り組みました。

- 【実績】
- ・アクセスユーザー数 6,543 ユーザー
 - ・就業相談会（県内） 11回 31人参加
 - ・就業相談会（県外） 1回 10人参加
 - ・その他就業相談者(就業ナビ等) 14人
 - ・新規就業者 37名

高校生や大学生、就業希望者を対象に、林業体験を実施しました。

【実績】

- ・林業体験 7回（高等学校 5回、大学 2回）、延べ 137人参加
- ・林業就業支援講習 1回 10人参加



●林業就業者の定着

冬期林業の普及により、林業事業体間での労働力の融通を通じて通年雇用を促進しました。

【実績】・林業就業者*の通年雇用者の割合（年間） 68% *森林組合の伐採作業の従事者
林業・木材製造業労働災害防止協会と連携し、安全巡回指導等を実施しました。

- 【実績】
- ・安全巡回指導 10回
 - ・労働災害救助訓練 1回 56人参加

《令和6年度に新たに講じる施策》

林業事業体が SNS を活用して担い手を確保できるようにセミナーを開催します。また、小規模事業体への労働安全衛生器具の導入の支援を行います。

(2) 富山県林業カレッジ等による担い手の育成

●経営・計画に関わる技術者の育成

将来の森林管理ビジョンを描き実現できる人材や、効率的な集約化施業を実現できる人材を育成しました。令和4年度から新設されたスマート林業システムコースにて、ドローンや GNSS 等で得られたデータを利活用できる人材の育成研修に取り組みました。

【実績】

- ・森づくりプロデューサー養成研修 30日間延べ 25人（うちスマート林業システムコース 7日間延べ 7人）
- ・森林施業プランナー育成研修 5日間 6人参加



●効率的な素材生産等を担う技術者の育成

高い生産性と安全性を確保しつつ、素材生産や森林作業道整備などを行うことのできる現場技術者を育成しました。

【実績】

- ・フォレストワーカー（林業作業士）研修 1年次～3年次 72日間 32人参加
- ・フォレストリーダー（現場管理責任者）研修 15日間 8人参加
- ・このほか、伐木技能高度化研修、路網作設スマート技能者育成研修などを開催

3 林業経営基盤の強化



(1) 林業事業体の育成と経営基盤の強化

●森林組合の経営基盤の強化

事業執行体制の強化を図るための指導、検査等を実施しました。

【実績】 ・常例検査 2組合

(2) 農林水産公社営林の経営改善と適正な管理

●将来収支の改善と森林の適正な維持管理

土地所有者の理解のもと、分収比率の見直し（公社8：土地所有者2）や契約期間の延長（80年）を進めるとともに、森林の有する公益的機能の維持・向上を図るため、間伐等の森林整備や抜き伐り等により広葉樹の導入を促進する「非皆伐長伐期施業」に取り組みました。また、新たな収益として期待する森林J-クレジット制度の計画書作成に取り組みました。

【実績】

- ・契約変更 3件（延べ944件 進捗率95.4%）
- ・非皆伐長伐期施業 41ha

●伐採収入増大と安定的な県産材の供給

低コスト生産に必要な森林作業道などの路網整備を進めるとともに、利用間伐や抜き伐りによる県産材の供給に取り組みました。

【実績】

- ・森林作業道開設 12.5km
- ・県産材生産量 2,370m³

森林J-クレジット活用セミナーの開催
(R5.12.5 富山市)



(3) 県営林の適正な管理

●適正な管理と計画的な契約更新

公益的機能を十分発揮できる森林を造成するため、間伐等の保育施業を計画的に実施するとともに、契約更新に係る変更契約の締結に向けた取り組みを進めました。

【実績】

- ・間伐 4.4ha
- ・森林作業道開設 0.3km

●計画的な県産材の供給

森林作業道の整備等による効率的な搬出間伐や立木売払を推進しました。

【実績】

- ・間伐材生産量 244m³
- ・主伐売払3件
(23.9ha 9,024m³(立木材積))

県営林の主伐実施状況
(魚津市三ヶ)



菌床シイタケの栽培



(4) 特用林産物の振興

●キノコ等特用林産物生産者への支援

オガ粉等の生産資材や電気料金の高騰により、厳しい経営状況となっている菌床シイタケ等の生産事業者に対して、支援に取り組みました。

4 新たな技術開発と普及指導の推進

(1) 林業の低コスト・省力化のための新たな技術開発の推進

●森林資源の循環利用と林業の成長産業化を実現する

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の採穂園を造成するとともにマルチキャビティコンテナを活用することで、効率的な挿し木苗の生産技術を確立しました。

本県における早生樹「コウヨウザン」の造林樹種としての適性を評価するとともに、エネルギー作物としてのヤナギ類の生産可能性について検討しました。

●水と緑を育み県民生活の安全・安心に貢献する森づくりを推進する

ドローン空撮画像と AI を用いて海岸林のマツ枯れ被害を効率的かつ早期に発見するための技術開発に取り組みました。

県内のブナ林、ミズナラ林等において着果状況の調査を行い、作柄を明らかにし、クマ出没予測に活用しました。

県内のスギ林における花粉の着果状況調査などから、1シーズンあたりのスギ花粉飛散量や飛散開始日、1日の花粉飛散数の予測を行い、広く県民に情報提供しました。

●研究成果の県民への提供

林業関係者はもとより、広く県民に対し、わかりやすく研究情報を発信するとともに、パンフレット等を通じた技術の普及を図りました。

【実績】

- ・森林研究所研究成果発表会 R6.1.25 開催 80人参加
- ・とやま森林研究所だより 600部発行
- ・研究報告 No.16 300部発行
- ・研究レポート No.25 600部発行
- ・業務報告 200部発行

(2) 持続可能な林業経営に向けた林業普及指導の推進

●面的なまとまりのある持続可能な森林経営の推進

効率的に森林整備を進めていくため、林業事業者に対し、森林経営計画の作成等による集約化施業を指導するとともに、森林・林業に関する専門的かつ高度な知識や技術等を有する森林総合監理士（フォレスター）が活動しました。

【実績】

- ・森林経営計画策定面積（累計） 39,437ha [再掲]
- ・フォレスター登録（累計） 32名

●森林・林業に関する技術・知識の普及・指導

効率的な主伐を実施するための知識・技術等を普及しました。

【実績】

- ・林業普及指導職員活動成果発表会
R6.2.16 開催 94人参加
- ・地区座談会 21回開催



整備された「立山 森の輝き」の採穂園



AIにより検出したマツ枯れ被害木



林業普及指導職員活動成果発表会
(R6.2.16 富山市)



木を使う（県産材等の木材の利用促進）

木材の利用を促進するため、県産材の安定供給体制の整備や需要の拡大を進めました。

5 安定供給体制の整備



(1) 林業生産性の向上

●生産性の向上を図る路網整備等の推進

路網整備や高性能林業機械の導入を支援しました。

【実績】・林業専用道（規格相当）	1.0km [再掲]
・森林作業道	99.5km [再掲]
・高性能林業機械の導入	5台
フェラーバンチャ	1台
プロセッサ	1台
林業用トラック	1台
ウィンチ付グラップル	1台
グラップルソー	1台

高性能林業機械（プロセッサ）（富山市）



(2) 品質・性能の確保と流通の円滑化

●需要に応じた品質・性能の確かな県産材の供給体制の整備

木材加工施設への製材施設等の導入を支援しました。

【実績】・木材加工流通施設整備	1箇所
（うち木材乾燥機の導入）	1箇所

●川上から川下までの関係者の連携強化

「とやま県産材需給情報センター」により、県産材の供給情報と建設予定物件の県産材使用量などの需要情報の共有化を図るなど、需給マッチングの円滑化を推進しました。

木材加工施設に導入した製材機（氷見市）



トピックス 「県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定」の締結について

県は民間 2 社と建築物に県産材を積極的に利用し、2050 年カーボンニュートラルの実現や地域山村の活性化を図ること等を目的とした建築物木材利用促進協定を締結しました。

民間事業者は、県産材を含む木材利用の意義やメリット等について積極的に情報発信し、県は、木造建築に関する技術的助言や木材調達等の情報支援、協定に基づく取組みを優良事例として積極的に広報することにより、民間建築物への木材の利用促進を図ります。



YKK 不動産(株)との協定締結 (R5.9.22)



(株)北陸銀行との協定締結 (R5.11.27)

6 需要の拡大

(1) 住宅や公共建築物等での利用促進

●住宅分野における利用促進

県産材を使った住宅建設に対する支援等を実施しました。

- 【実績】
- ・とやまの木で家づくり支援事業 40棟
 - ・とやまの木で家づくり応援工務店 19社
 - ・県産材アドバイザー 57名

(R6.3末現在)

●公共建築物等での利用促進

県民の皆さんが広く利用される施設の木造化や内装木質化、遊具や備品導入への県産材の活用に対する支援等を実施しました。

【実績】(施設数は重複あり)

- ・内装の木質化 6施設
- ・外装の木質化 3施設
- ・県産材備品導入 9施設

●富山県ウッド・チェンジ協議会の開催

民間建築物における木材利用の促進のため、木材の供給側から需要側までの幅広い関係者が参画する「富山県ウッド・チェンジ協議会」を令和5年8月に設置しました。

- 【実績】
- ・富山県ウッド・チェンジ協議会開催 2回
 - ・とやまウッド・チェンジセミナー 1回

民間企業へのアンケートの結果、木材利用に対するデメリットは「防耐火性」との意見が多かったため、建築物における防耐火規制等に関する調査を行いました。

●県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定の締結

事業者と県が連携して民間建築物における県産材の利用を促進することを目的として木材利用促進協定を締結しています。

【実績】

- ・木材利用促進協定の締結 2件

(2) 新たな需要を創出するための研究開発

●地域の木材産業と連携した安全・安心な木造建築技術の開発

木材研究所では、木質耐震壁に関する技術開発を進め、研究成果を発表するとともに実施工も行いました。また、企業等からの共同研究や依頼試験に積極的に応じました。

【実績】

- ・木材研究所研究成果発表会 R5.11.21開催
48名参加(オンライン併用)
- ・企業等との共同/委託研究 12社(13件)
- ・依頼試験 17社(70件)



支援事業を活用した県産材住宅



公共・民間施設への備品導入
(子育て支援センター(黒部市))



富山県ウッド・チェンジ協議会



木材研究所研究成果発表会
(R5.11.21 県木材研究所)



(3) 設計者等の育成・確保

【人を育てる】

●木造建築物を設計できる人材の育成

民間の建築技術者等に対し、県産材の活用について理解を深めてもらうことを目的に、講習会等を開催しました。

【実績】

- ・木造公共建築講座 3回 112人参加
- ・林産技術講習会 2回 84人参加



第1回林産技術講習会
(R5. 8. 9 県民会館)

(4) 理解の増進と木育の推進

【人を育てる】

●県民への木材利用の普及啓発

10月の「とやまの木づかい推進月間」を中心に、関係者が連携・協力し、県産材の利用促進に向けたイベントなどの広報活動を実施しました。

【実績】

- ・「2023年とやまチビッコとんかち大将コンクール」 応募総数 132点
- ・「とやま木育フェア2023」
約 2,400人参加
木製遊具の展示、住宅木材関連ブース、木育広場、木工教室の開催 等

児童館など多くの子供が集まる施設への県産材遊具の導入を支援しました。

【実績】

- ・県産材こどもの城づくり事業
屋外遊具の製作・設置 3施設
- ・県産材遊具の貸出 49回

県産材を利用した建築物を対象にコンクールを開催し、県産材を利用する設計者・施工者の意欲向上に繋がる機会を創出しています。令和5・6年度の2年にわたり作品を募集しています。

【実績】

- ・R4 とやま県産材建築物コンクール
応募数6点
(住宅部門3点・非住宅部門3点)

木造公共建築の可能性を拓く情報誌を作成し、木材需要拡大を促進しています。

【実績】

- ・杣（そま）Vol.15の発行



とやま木育フェア
(R5. 10. 28~29 富山市婦中町)



屋外遊具の設置
(黒部市若栗保育所)



木造公共建築の情報誌「杣（そま）」

森を守る（多様な森づくり・災害に強い森づくり）

とやまの豊かな森を守り育て次世代に引き継ぐため、県民参加の森づくりの推進や災害に強い森づくりを進めました。

7 県民参加の森づくりの推進



(1)-1 里山林の整備

●県民協働による里山林の整備

野生動物との棲み分けなどを目指し、地域住民との協働により、地域や生活に密着した明るい里山の再生に取り組みました。

【実績】・里山林整備 10市町 43地区 455ha
地域住民等の参加人数 607人
・4年目以降の地区への支援 14市町 135地区
地域住民等の参加人数 3,307人
広葉樹林の若返りを図るとともに、キノコ菌床やパルプ材等として活用するため、更新伐を実施しました。

【実績】・広葉樹更新伐 103ha

地域住民による森づくり活動
(富山市山本)



《令和6年度に新たに講じる施策》

令和5年度のクマの大量出没や人身被害を踏まえ、クマの出没件数が多い地域における3年間の集中的な森林整備を実施します。

●地域住民による継続的な里山林の維持管理活動

里山リーダーセミナー等により里山の利活用を促進するとともに、過疎化、高齢化などにより地域住民だけでは困難となった里山林の維持管理を支援する「森づくりサポーター」と地域住民との協働活動「里山応援隊活動」を実施しました。また、竹林整備に取り組む地域住民に対し、竹林の管理・利用技術、竹の収集・利用方法などを体験する「かぐや姫の里の集い」を実施しました。

【実績】

- ・里山リーダーセミナーの開催 13回 87人参加
- ・里山応援隊活動 2地区 29人参加
- ・「かぐや姫の里の集い」 R5.10.14開催
氷見市ふれあいの森 45人参加

かぐや姫の里の集い
(R5.10.14 氷見市ふれあいの森)



(1)-2 混交林の整備

●過密人工林や侵入竹林の整備

過密となった人工林や竹が侵入した人工林を、スギと広葉樹が混在する混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】

- ・過密人工林整理 4市町 4地区 6ha
- ・侵入竹林整理 8市町 9地区 22ha

侵入竹林の整理 (朝日町笹川)



(1)-3 保全林の整備

●公益的機能の維持・増進に必要な山地保全の推進

水源の涵養や山地災害の防止などの公益的機能の確保のため、治山事業による荒廃山地の復旧や山地の崩壊等の未然防止を実施しました。

(2) 森づくりを支える県民意識の醸成

【人を育てる】

●森づくりを支える県民意識の醸成

「とやま森の祭典 2023」を開催し、森林の持つ多様な役割や健全な森づくりのための県産材利用の重要性等について広く紹介し、県民の皆さんに理解を深めていただきました。

【実績】・R5.5.28 開催 県民公園頼成の森 約2千人参加

●森林環境教育の推進

森づくりへの理解を深めてもらうため、児童、生徒や一般県民を対象に富山県フォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。また、森の寺子屋の指導者となる富山県フォレストリーダーのスキルアップ研修を実施しました。

【実績】

- ・「森の寺子屋」の開催 117回 7,298人参加
- ・スキルアップ研修 3回 124人参加

有峰の自然に対する愛着心を育む活動や高校生、一般県民の森林体験等を実施する「有峰森林文化村」の活動を推進しました。

【実績】

- ・文化村活動 52回 582人参加
- ・森林文化公園施設利用者 15,106人

●県民全体で支えるとやまの森づくりの推進

「富山県水と緑の森づくり会議」を開催(R5.4.27)し、森づくりについて幅広く意見を伺うとともに、「富山県森林審議会森づくり部会」を開催(R5.10.10)し、水と緑の森づくり事業の評価を行いました。

とやま森の祭典 2023 の開催



森の寺子屋の開催
(全国食育推進全国大会 植菌体験)



(3) 森林ボランティア等による森づくり活動への支援

【人を育てる】

●「とやまの森づくりサポートセンター」による森づくり活動の支援

森づくり活動を行うボランティア団体や企業にサポートセンターに登録してもらい、活動に必要な機器の貸出や保険料の支援、「森づくり塾」による森林・林業の知識、技術に関する研修を実施しました。

- 【実績】・サポートセンター登録者数 (R6.3 末現在) 139 団体 (5,596 人) ,62 企業
- ・県民参加による森づくりの年間参加延べ人数 10,461 人
 - ・保険料支援 25 団体
 - ・機器の貸出 535 回 6,512 回
 - ・森づくり塾の開催 29 回 405 人参加

森林ボランティア活動を体験する機会を設けるほか、登録団体・企業の交流を支援しました。

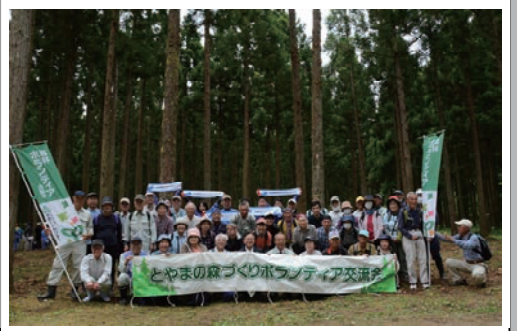
【実績】・「とやまの森づくりボランティア交流会」

R5.5.28 開催 県民公園頼成の森 62 人参加

●県民意見を反映した「サポートセンター」の運営

「とやまの森づくりサポートセンター運営委員会」を開催(R5.8.30)し、活動内容について幅広く意見を伺いました。

森づくりボランティア交流会
(R5. 5. 28 県民公園頼成の森)



《令和6年度に新たに講じる施策》

企業やボランティア団体等が行う森林整備によるCO₂吸収量や、県産材利用による炭素固定量を適正に評価することで、県民参加の森づくりやCO₂削減に取り組む意識の醸成を図ります。

8 災害に強い森づくりの推進



(1) 保安林の適正な管理と林地の保全

●計画的な保安林指定と適切な管理

公益的機能の発揮が必要な森林を保安林に指定するとともに、保安林標識の設置や保安林調査員によるパトロールを定期的に行いました。

【実績】

- ・保安林種ごとの指定面積

土砂流出防備保安林	59.3ha
土砂崩壊防備保安林	0.5ha
飛砂防備保安林	2.3ha
計	62.1ha
- ・保安林標識の設置 24 基
- ・保安林調査員によるパトロール 8 名 57 回

豊かな水を育む保安林
(富山市有峰)



(2) 県民の生命・財産を守る治山事業の推進

●災害に強い森づくり・水源の森づくりの推進

災害等により機能が低下している森林について、森林の整備を治山施設の設置と併せて実施するとともに、山地災害危険地区の整備や、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、水源涵養機能の高い森林に向け整備しました。

【実績】

- ・復旧治山事業 7 市町 15 箇所
- ・予防治山事業 5 市町 6 箇所
- ・緊急予防治山事業 2 市町 5 箇所
- ・山地災害重点地域総合対策事業 3 市 5 箇所
- ・森林整備 33ha

雪害防止対策 (南砺市利賀村水無谷)



●雪害防止対策の推進

なだれ防止機能を有する森林の維持・造成を行いました。

【実績】・なだれ防止林造成事業 1 市 2 箇所

●治山施設の老朽化対策

「富山県治山施設長寿命化計画 (令和元年度策定)」に基づき、老朽化した治山施設の修繕を計画的に実施しました。

【実績】・治山施設の修繕 8 市町 8 箇所

老朽化対策 (黒部市窪野)

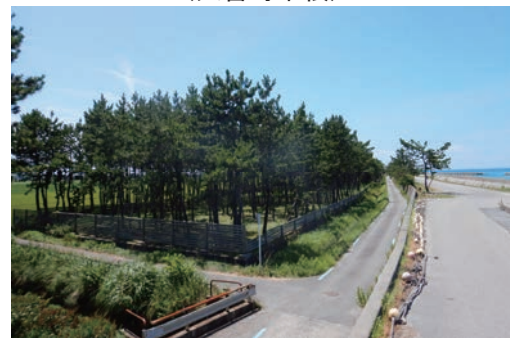


●海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、強風等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の機能維持のため、下刈・間伐等の保育作業や植栽を実施しました。

【実績】・治山保育事業 3 市 2 町 16 箇所

海岸防災林の造成
(入善町木根)



(3) 森林病虫獣害対策の推進

●森林病虫獣害に対する適切な被害把握と防除の実施

海岸林などを松くい虫被害から守るため、薬剤散布や樹幹注入による予防対策と、被害木の伐倒駆除による被害拡大防止対策を実施しました。

【実績】

- ・薬剤散布 6市町 90ha
- ・伐倒駆除 7市町 219m³
- ・樹幹注入（立木本数）5市町 247本

令和5年度に特定外来生物に指定されたツヤハダゴマダラカミキリによる樹木の被害が富山市内の街路樹や公園のトチノキやカツラ等で確認されており、情報収集に努めました。

ツヤハダゴマダラカミキリ



トピックス 建設業における衛星通信サービスの活用

治山・林道等の森林土木工事を実施している山間地は、多くが携帯電話不感地帯であることから、離れた場所での現地確認・立会等を行う遠隔臨場や、労働安全確保のための緊急時の連絡などが困難な状況となっています。

そのため、県では令和5年度に

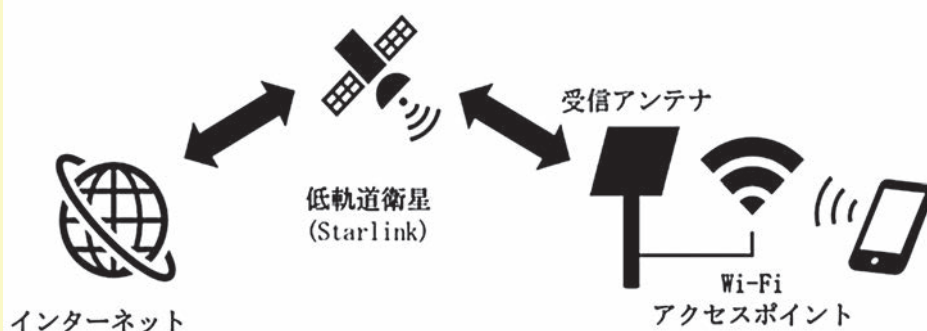
- ① 地上通信網が届かない山間地での治山・林道工事現場において、低軌道衛星通信サービスを活用した情報通信環境の構築について実証
- ② 建設業者に低軌道衛星通信サービスを試験的に利用してもらうことで、今後の普及のための問題点の洗い出しや活用事例の収集を通じて、建設業者への普及を図る



以上を目的として、低軌道衛星通信サービスの有効性検証のための実証事業を実施しました。

実証事業の結果、アンテナの設置等に工夫が必要な場合もありましたが、全ての現場において通信環境を構築することができました。また事業者からは、「十分な通信環境の確保が難しい現場もあった。」との意見があった一方、「簡単に通信環境を構築でき、会社や家族等との連絡手段を確保できたことから、施工管理の効率化や労働安全の構築に役立った。」との意見が大勢を占め、連絡体制の確保に非常に有効な手段であることが確認できました。

令和6年度以降については、公共事業等の個々の設計に受注者から希望がある場合は、必要に応じて通信機器等の費用を積上計上し、山間地域での活用を進めていく予定としています。



IV 富山県森林・林業振興計画の参考指標と令和5年度実績

区分	番号	指標名	単位	基準年	実績	目標
				H28	R5	目標(R8)
森を活かす	1	森林境界面定実施面積（累計）	ha	4,929	7,353	12,000
	2	主伐面積〔人工林〕（年間）	ha	32	85	100
	3	優良無花粉スギ植栽面積（累計）	ha	42	218	500
	4	間伐実施面積（累計）	ha	34,784	41,699	46,607
	5	森林経営計画策定面積（累計）	ha	36,966	39,437	43,300
	6	路網整備延長〔人工林内〕（累計）	km	1,818	2,472	2,498
	7	林業就業者数（年間）	人	452	430	450
	8	林業就業者*のうち、通年雇用者の割合（年間） *森林組合の伐採作業の従事者	%	64	68	100
	9	認定森林施業プランナー数（累計）	人	30	40	42
	10	認定事業体数（累計）	者	14	18	19
	11	非皆伐長伐期施業面積〔公社〕（累計）	ha	—	383	830
	12	県営林素材生産量（年間）	m ³	9,010	9,024	10,710
木を使う	13	木材の生産性（年間）	m ³ /人日	4.0	5.8〔R4〕	4.4
	14	県産材素材生産量（年間）	千m ³	98	105	140 ※(145)
	15	公共建築物等の木造率（年間）	%	14	31.1	25以上
	16	公共建築物等での県産材利用実績（累計）	棟	243	426	830
	17	県産材大型遊具の導入施設数（累計）	施設	23	50	63
森を守る	18	里山林の整備面積（累計）	ha	2,628	4,061	4,600 ※(4,800)
	19	混交林の整備面積（累計）	ha	1,290	1,655	1,800
	20	森の寺子屋の開催回数（年間）	回	122	117	130
	21	県民参加による森づくりの年間参加延べ人数	人	12,439	10,461	13,000 以上
	22	保安林の指定面積（累計）	ha	92,462	92,747	93,800
	23	山地災害危険地区着手数（累計）	箇所	1,403	1,466	1,453
	24	流木被害防止対策着手数（累計）	箇所	—	20	

※下段()は、富山県森づくりプラン(R3.10改訂)及び県産材の利用促進に関する基本計画(R4.3改定)の目標値を記載。

V 令和5年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
令和5年	
4月25日	富山県林業イノベーション推進協議会（第1回）
4月27日	富山県水と緑の森づくり会議
5月28日	とやま森の祭典 2023〔砺波市 県民公園頼成の森〕
//	とやまの森づくりボランティア交流会〔同上〕
5月30日	富山県森林政策課有峰庁舎開所式
7月 3日	富山県林政協議会
8月30日	富山県ウッド・チェンジ協議会（第1回）
//	とやまウッド・チェンジセミナー
//	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会
9月10日	とやまの森づくりボランティアの集い〔立山町吉峰 森林研究所樹木園〕
//	富山県フォレストリーダースキルアップ研修
9月22日	県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定締結式（YKK 不動産株）
10月 2日	農林水産技術会議
10月 6日	富山県中央植物園開園 30 周年記念式典
10月10日	富山県森林審議会森づくり部会
10月14日	かぐや姫の里の集い〔氷見市 ふれあいの森〕
10月22日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修
10月28～29日	とやま木育フェア 2023〔フューチャーシティファボーレ〕
10月29日	飛越源流の森づくり〔岐阜県高山市〕
11月 6日	富山県林業用優良種苗需給調整協議会
11月20日	富山県ウッド・チェンジ協議会（第2回）
11月27日	県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定締結式（株北陸銀行）
12月 5日	森林 J-クレジット活用セミナー
12月19日	富山県森林審議会
12月26日	富山県森林審議会森林保全部会
令和6年	
2月16日	林業普及指導職員活動成果発表会
2月17～18日	花とみどりふれあいフェア〔フューチャーシティファボーレ〕
3月 8日	とやまの森づくりサポートセンター懇話会
3月10日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修
3月18日	とやま緑化推進機構定時総会
3月19日	富山県林業イノベーション推進協議会（第2回）